

蛍光特性のあるインドシアニングリーン(indocyanine green; ICG)を用いた消化器外科手術における様々な精度の向上を目指す研究

日本医科大学多摩永山病院消化器・乳腺・一般外科にて消化器外科の手術を受けてきたまたはこれから受ける患者さま

研究協力をお願い

当科では「**蛍光特性のあるインドシアニンググリーン(indocyanine green; ICG)を用いた消化器外科手術における様々な精度の向上を目指す研究**」という研究を行います。この研究は、2011年7月1日～2025年3月31日までに日本医科大学多摩永山病院外科消化器・乳腺・一般外科にて消化器外科の手術を受けてきたまたはこれから受ける患者さまの消化器外科手術における様々な精度の向上を目指す研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：蛍光特性のあるインドシアニンググリーン(indocyanine green; ICG)を用いた消化器外科手術における様々な精度の向上を目指す研究

研究期間：2011年7月1日～2027年3月31日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 消化器外科・乳腺外科・一般外科 牧野浩司

(2) 研究の意義、目的について

蛍光特性のあるインドシアニンググリーン(indocyanine green; ICG)を用いた消化器外科手術における様々な精度の向上を目指す研究を行うことで、より正確な腫瘍や臓器の血流、胆管の同定、転移巣や腹膜播種の同定、膵液漏の同定、血栓や血管病変による消化管血流障害や消化管切除後の再建臓器、血管再建や血管吻合後の客観的血流評価やリンパ漏の同定を目的とします。

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

この研究は、2011年7月1日～2025年3月31日までに日本医科大学多摩永山病院外科消化器・乳腺・一般外科にて消化器外科の手術を受けてきたまこれから受ける患者さまを対象として、これから手術を受ける患者さまに ICG を静注し、ICG の蛍光特性に着目し、静注後にそれぞれ、(1) 腫瘍の同定、(2) 血流遮断後の消化器臓器の血流、胆管の同定、(3) 転移巣、腹膜播種の同定、(4) 血栓や血管病変による消化管血流障害の同定、(5) 消化管切除後の再建臓器の血流評価、(6) リンパ漏の同定、(7) 膵切除後の門脈や動脈再建後、遊離空腸移植後の動静脈の血管吻合後の血流評価を行い、術後合併症の有無、予後などを解析し、これまで手術を受けてきた患者さまと比較し、検討を行います。

この研究は、患者さまの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：手術時に切除した検体、血液、ドレーン排液など

情報：病名、年齢、性別、BMI、既往歴、術式、手術ビデオ、手術時間、術後合併症の有無、術後治療など

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学多摩永山病院倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山 1-7-1

TEL 042-371-2111 (2302)

FAX 042-372-7381

E-mail: nagayama-chicken_center@nms.ac.jp